

THE NIKKEI MAGAZINE

Education

日経マガジン 教育特集号
30 June 2017

難関大学進学特集

—これからの社会で活躍できる人材育成の現場—

大学入試改革や、グローバル人材の育成
キャリア教育など、最新の大学教育を探る

巻頭インタビュー

日本私立大学連盟 会長
早稲田大学 総長

鎌田 薫氏



廣 告

入学試験とは 大学の教育方針を反映した 学生へのメッセージである

2020年度に向けた大学入試改革が行われる。

なぜ今、改革が必要なのか。

日本私立大学連盟会長も務め、いち早く大学改革に取り組む
早稲田大学総長の鎌田薫氏に聞く。

Special Interview

日本私立大学連盟 会長
早稲田大学 総長

鎌田 薫氏



現在の大学入試センター試験等のマークシートは、どんな問題にも唯一無二の正解があるという前提でつくられています。そのため中学・高校では、知識集積型教育に収れんする傾向が強いです。変化の激しい時代を生き抜くためには、

私が座長を務めた「教育再生実行会議」では、大学入学者選抜の改革について提言しました。この提言は、大学入試だけを変えるという発想ではなく、初等・中等教育から高等教育まで、全体として教育のあり方を変えていくことを求めています。個性豊かでこれからの時代を切り拓（ひら）いていく、自分の頭で考える力をもった人材を育てていくという視点が欠かせません。

大学入試改革は鎌田総長が座長を務めた「教育再生実行会議」の提言からスタートしました。2020年度の改革に向けた具体的な実施方法は、どのようにあるべきとお考えですか。

**激変し続ける未来を
生き抜くための教育を**

むしろ正解のない問題にどのようにアプローチしていくか、そのスキルとマインドが求められています。

——大学入試を変えることで教育全体を変えていこうと。

大学入試が変われば、高校の教育が変わります。そうすれば中学の教育も変わらざるを得ません。このほど文部科学省が「大学入学共通テスト（仮称）実施方針案」を公表しました。英語では民間の試験を活用する見込みで、これまでの「読む」「聞く」に加え「話す」「書く」の4技能が求められます。高校教育でも4技能を身につける授業に変わっていくでしょう。国語と数学の一部に記述式が導入されます。80字、120字程度という短い文章ですが、考えをまとめて伝える表現力、クリティカルシンキングを養うきっかけになると思います。

私立大学はそれぞれの考え方に則って入学試験を実施しています。それぞれの教育に対する考え方がここに表れているわけで、入学試験は大学から高校生への最大のメッセージです。

THE NIKKEI MAGAZINE
Education

難関大学進学特集

これからの社会で活躍できる人材育成の現場

CONTENTS

- 03 巻頭インタビュー
日本私立大学連盟 会長
早稲田大学 総長 鎌田 薫氏
- 06 新しい大学の挑戦
～進化する多彩な教育プログラムを探る～
[慶應義塾大学・東京工業大学・一橋大学・立教大学]
- 08 大学訪問 2017夏 ～成蹊大学
- 11 大学訪問 2017夏 ～立教大学
- 13 オープンキャンパスインフォメーション
- 14 プロに聞く 大学入試改革 最新事情

日経マガジン エデュケーション 広告特集
企画・制作＝日本経済新聞社
クロスメディア営業局

デザイン・構成／ACC
編集・文／木原昌子（ハイキックス）
文／上阪徹、大村晋輔、広重隆樹、馬島利花
撮影／片桐圭、青地あい

プレゼント
本特集に関するアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で図書カード2,000円分を10名様にプレゼントします。
★詳しくは14ページへ

QS Graduate Employability Rankings 2017

順位	大学名
1	Stanford University
2	Massachusetts Institute of Technology (MIT)
3	Tsinghua University
4	The University of Sydney
5	University of Cambridge
6	Ecole Polytechnique
7	Columbia University
8	University of Oxford
9	University of California, Berkeley (UCB)
10	Princeton University
11	The University of Melbourne
12	Peking University
13	Cornell University
14	Fudan University
15	University of California, Los Angeles (UCLA)
16	ETH Zurich - Swiss Federal Institute of Technology
17	University of Chicago
18	The University of Hong Kong
19	University of Toronto
20	KIT, Karlsruhe Institute of Technology
21	Imperial College London
22	National University of Singapore (NUS)
23	University of Waterloo
24	University of Pennsylvania
25	UCL (University College London)
26	Brown University
26	早稲田大学
28	Northwestern University
29	University of Michigan
30	McGill University
30	東京大学
30	Technische Universität Darmstadt
30	Duke University

早稲田大学創立150周年を見据えた中長期計画

WASEDA VISION 150

～4つのヴィジョン～

- 1 世界に貢献する高い志を持った学生**
人間力・洞察力を備えたグローバルリーダーの育成
- 2 世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する研究**
未来をイノベートする独創的研究の推進
- 3 グローバルリーダーとして社会を支える卒業生**
校友・地域との生涯にわたる連携の強化
- 4 アジアの大学のモデルとなる進化する大学**
進化する大学の仕組みの創設

—— 早稲田大学は一般入試と推薦、AO入試の入学者の割合を現在の6対4から、4対6に変える改革案を打ち出しています。

個性豊かで総合力のある学生に集まってほしいという狙いがあります。早稲田の魅力は、多様性の上に成り立ってきました。ペーパーテストで高得点を取ること、大切な能力ですが、それ以外の個性を磨いてきた学生も評価できるようにしたい。ある意味、規格外の学生や、地方の学生にとっても、チャレンジしやすい入試に変えていきたいのです。

授業の82%が50人以下の少人数に

—— 早稲田大学は中長期計画「WASEDA VISION 150」を2012年度に公表しました。具体的には、どのように進められているのでしょうか。

早稲田大学が創立150周年の2032年に向けたビジョンで①教育②研究③社会連携④大学運営の4分野で大きな目標を掲げています。教育関係の施策としては、少人数クラスで双方向・多方向の対話型、議論中心の課題発見課題解決型の授業に切り替えてきました。現在、全学部で設置されている授業の82%が50人以下。49%のクラスが20人以下になっています。

また、体験型学習も強化しています。国内外でのボランティア、インターンシップなどを通じて、多様な価値観の人たちと触れあう。できるだけ早く社会と接し、貢献する意識を培う。体験によって学べることはとても大きいのです。現在では、年間2万人を超えています。

る学生が何らかの体験型学習プログラムに参加しており、その驚きや感動を「言語化」することで、考える力や表現力を養うことにつなげています。

—— 英国QS社の2017年のランキングで国内ランキング1位、世界で26位になりました。

卒業生たちが幅広い分野で活躍し、世界中の経営者から高く評価された結果だと思っています。卒業生たちが世界中の企業でとがった業績をあげてきた表れです。エンプロイアビリティとは就業力ですから、チャレンジしたい学生をサポートできる大学の体制も評価されたと考えています。大切なことは本学の教育研究に学生が満足し、卒業後、30代、40代になってももう一度学びに帰ってきたいとなる大学であることだと思います。

留学しやすくなる様々な制度を用意

—— 海外からの留学生も、送り出す留学生の人数も日本一です。留学すると留年してしまう、就職活動に不利になってしまう、お金もたくさんかかる……それでは学生が二の足を踏むのは当然です。当校では、単位の読みかえ、就職活動に差し支えない時期に留学できるプログラムの提供、770を超える海外の大学と交換協定を結び、そのうちの大部分で追加の授業料を払わず留学できる制度などを用意し

ました。現在40%超の学生が海外での学びを経験しています。

—— 受験生に向けたメッセージをお願いします。

これからの時代、知識量よりも、独創性や人間性が評価され、必要とされるでしょう。変化の激しい時代を生き抜くためには、一生涯続ける必要がある。そのために必要なスキルと困難に打ち勝つマインドをきちんと鍛えていくのが、大学時代にやるべき一番大切なことです。自分に磨きをかけていくという自覚を持ち、チャレンジを続けたいという意欲を持った学生に、最善の環境を提供できるよう、私たちも挑戦を続けていきます。



Profile 鎌田 薫(かまた・かおる)

1948年静岡県生まれ。70年早稲田大学法学部卒業。83年早稲田大学法学部教授。2010年早稲田大学総長就任。13年に発足した教育再生実行会議の座長を務め、21世紀の日本にふさわしい教育への提言をすすめる。16年より日本私立大学連盟会長。



2014年完成の新3号館。早稲田キャンパスの象徴となってきた旧3号館の面影を残しながら、最新の設備に生まれ変わった。

廣 告

国際的かつ学際的な 人材育成の拠点

慶應義塾大学は「実学（サイエンス）」によって地球社会の持続性を高める」という構想により、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」タイプA（トップ型）に採択されました。その構想の具現化のひとつとして設立されたのが慶應義塾大学GICセンター（Center for Global Interdisciplinary Courses）です。

現在、世界には解決すべき難問が山積しており、科学技術や医療の分野では常に最先端の成果を出すことが求められています。これからの若い世代は、専門の殻に

GICカリキュラム

GICコア科目※1

※1 基礎的な科目。通常の講義形式のほか、少人数クラスや実技クラスなどバラエティーに富んだ科目がある。

GICリサーチ科目※2

※2 各学部・研究所・センターが英語等で開設する専門科目

40単位以上取得でGIC修了を認定

慶應義塾大学

多彩な科目を英語やその他の外国語で 学ぶGICカリキュラム

閉じこもることなく、複合的な知識に裏打ちされた広い視野で物事を研究し、自らが得た結論を積極的に世界へ発信していかなければなりません。こうした国際的かつ学際的な人材の育成を目的に、GICは英語（または、その他の外国語）による効果的な学習プログラムを提供します。また、キャンパス相互の連携強化を図ることで、塾内に散在する「知」を集約し、それにより基礎教育と専門教育、学部と学部、あるいは大学と高校の間をつなぐプラットフォームとなることも目指しています。

「Take the GIC Challenge」の旗印のもと、意欲あるみなさんの挑戦をお待ちしています。

慶應義塾 常任理事

鈴木 直樹 氏



多彩な プログラムを探る～

社会のグローバル化が進展する中、より実践的な資質や能力を備えた人材の育成が求められている。将来を見据える受験生や家族にとって、「その大学で何をどう学べるのか？」という問いは進路選択の重要な指針となった。長い伝統と豊かな実績を誇るトップクラスの大学4校に独自の取り組みについて伺った。

独自のプログラムで 系統的、包括的に学習

「世界最高の理工系総合大学」を目指す東京工業大学は、世界の企業、大学、研究所、国際機関などで活躍できる科学者・エンジニア・技術者を育成することを目的とし、2013年より「グローバル理工人育成コース」を設けています。

本コースは、将来の国際的な活躍や留学等の目標に対する意識の個人差を問わず、入学後に世界の舞台上で専門性を発揮できる能力を系統的かつ包括的に育成できるような設計されています。本コースに所属した学生は留学生とのグループワーク等で国際意識を醸成した上で実践的英語を習得します。また、アクティブラーニング等を通じて異文化理解や



ジョージア工科大学でのリーダーシップチャレンジコース
予測不能の状況下、チームワークでミッションを達成する

東京工業大学

世界で活躍できる グローバル理工人を育成

課題発見・解決の方法を学ぶとともに、180以上の海外大学ネットワークを活用した多様な留学プログラムに参加します。さらに大学院修士課程には海外大学と共同でリーダーシップを育成するプログラムを含む、国際的な教養や発想力、共同研究を行うための能力を習得するための上級コースを設けています。

本コース登録者数は年々急速に増加しており、地球規模で思考する理工人を目指す学生たちの学び・交流の場となっています。学生の皆さんに広く門戸を開け、仲間と一緒に成長できるようお手伝いしていきます。

国立大学法人 東京工業大学
国際教育推進機構
ユニバーシティエデュケーション
アドミニストレーター
特任教授 博士

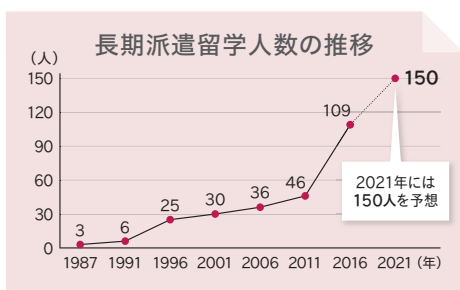
太田 絵里 氏



英語による専門教育
海外一流大へ長期留学派遣

一橋大学は、グローバル社会における「キャプテンズ・オブ・インダストリー」を育成することを目指し、「グローバル・リーダーズ・プログラム（GLP）」を設けています。2013年に商学部、経済学部でスタートし、17年4月より法学部、社会学部にも拡充。全学足並み揃え、本学の伝統である少人数教育の強みと特色を生かしたハイレベルな学びを提供します。

GLPに所属する学生は、1年次に学力だけでなく動機や意欲も重視して選抜され、2年次から学部ごとに手作りの英語による専門科目の履修が義務付けられます。留学については、2年次に短期グループ海外



一橋大学

GLPでエリート教育
全学でもグローバル化を推進

GLPの一部の科目やプログラムは一般学生にも開放するほか、800人（全学約6000人）に迫る外国人留学生に対応するため各学部でも英語による授業を推進し、学部・大学院を含む全学のグローバル教育の充実も進めています。

調査、3年次後半から10か月間の長期留学とインターシップなどを実施します。特に長期留学では30年以上にわたり海外の一流大学・部局合計で107機関との学生交流協定を締結し、授業料相互不徴収、生活費支援という恵まれた条件で派遣。16年に109人（1学年の約12%）を記録した年間派遣実績は21年に150名に達する予定です。

一橋大学 副学長
国際共同研究センター長
社会学研究科 教授

中野 聡氏

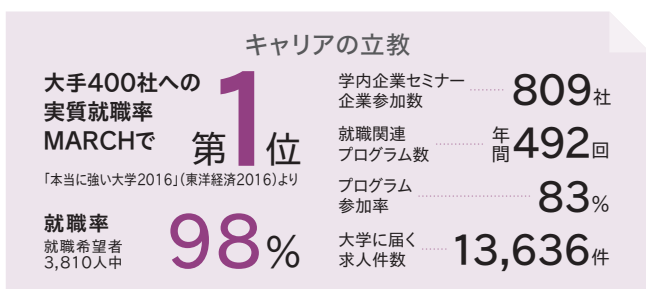


新しい大学の挑戦 ～進化する教育

質の高いキャリア教育
企業から高い評価

立教大学は倫理性、社会性、人間性を培う土壌を長期にわたり受け継ぎ、まさに現代社会をデザインする人材を輩出してきました。その歩みの中で、近年、学部ごとの学問領域の枠を超え、全学的な視点から重要な位置づけにあるのが「キャリア教育」です。

立教大学ではキャリアセンターと学部が連携して、1年次生から参加できる、社会と接点を持つプログラムを多数展開し、学生が多くの経験や多様な価値観に触



立教大学

「キャリアの立教」
4年間を通じたキャリア支援

「学ぶ力」「考える力」を身につけられるキャリア支援を行っています。自分について知る「導入期」から、将来を考える・進路を具体的に考える「形成期」、社会に出る準備をする「完成期」まで、在学中に継続して一人ひとりのキャリア形成を支援する質の高い学びは、「キャリアの立教」と企業からも高く評価されています。さらに、2014年に設定した国際化戦略「Rikkyo Global 24」の中で、企業活動のグローバル化に対応したキャリア教育を強化するプロジェクトも展開しています。立教大学は、大学時代の4年間で皆さんのキャリアをしっかりと形成できるように全力でサポートします。

立教大学
キャリアセンター部長
経営学部教授

佐々木 宏氏



（※）掲載データは就職率を除き2016年調べ。就職率は2017年3月実績。

学生と教員の距離が近い学びの環境で これからの社会を生き抜く力を養成

明治・大正期の教育者 中村春二の「成蹊実務学校」を前身に歴史を育んできた成蹊大学。

グローバル社会、リスク社会に立ち向かうにあたって、
大学で学生が身につけるべき真の学力とは何か。北川浩学長に伺った。

実践的な課題で 視野を広げ 成長する学生たち

——武蔵野・吉祥寺のキャンパスにすべての学部が集う環境を生かし、人格・学問・心身のバランスのとれた人材育成を、少人数教育で実践されていると伺っています。

創立以来、個性を重視した少人数教育を貫いており、伝統的に教員と学生の距離が近いことは本学の特徴でしょう。そこには「自奮自発の精神の涵養」「子弟の心の共鳴」を大切にしたい、成蹊学園の創立者 中村春二の思いが今も生きています。1年次から必修のゼミナールでは、学生同士、学生と教員が熱い議論を交わしています。

また、文系・理系すべての学部が4年間一つのキャンパスで学ぶという本学の特色を生かした学部融合の教育プログラムに特に力を入れています。

卒業後の学生を待っているのは、何が起きてもおかしくない不確定でリスクの高い社会です。その社会が直面する課題は一つのディシプリン（専門分野）だけでは解決することができないものばかり。異なる専門性を持った人々と協働して複雑な課題に立ち向かわなければなりません。

——学部融合型プログラムの代表的な試みが「丸の内ビジネス研修（MBT）」ですね。

成蹊学園と歴史的につながりの深い三菱グループなど20社以上の有力企業の協力を得て実施する成蹊大学独自の人材育成プログラムです。参加するのは、全学部・大学院から選抜された約30名の学生たち。学部横断の6、7人のグループごとに協力企業が提示した課題に解決策を提案します。協力企業でのインターンシップも含め、約8カ月にわたる長期プログラムです。学生たちはディスカッションや発表を通じて異なる意見に出合い、視野を大きく広げていきます。研修を終えるころには見違えるように成長しますよ。

——MBTに協力する企業からは学生たちにどんな課題が出るのでしょうか。

例えば「丸の内エリアのマネジメント」「AI・ロボット普及時代の働き方」など様々です。企業が今まさに取り組んでいるきわめ

て実践的なテーマが課題に挙げられています。このような課題から問題を発見し、具体的な解決提案を行うことの難しさを身をもって体験します。文理融合のチームで、実社会で働くプロと接しながら様々なアイデアを出し合い、解決方法を導き出す経験は、就職後も役立つ財産となることでしょう。

成蹊大学 学長

北川 浩氏

Profile

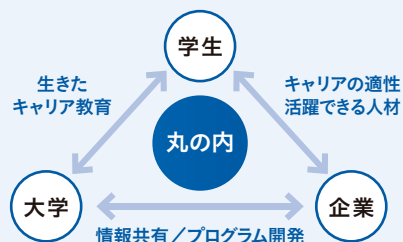
きたがわ ひろし ©1960年生まれ。一橋大学経済学修士。専攻は貨幣論、金融論、人材開発論。キャリア支援センター所長、経済学部長などを経て、2016年4月、学長に就任。



丸の内ビジネス研修 Marunouchi Business Training

MBTの特徴

- 1 多業種・多職種の企業とのコラボレーション
- 2 文理融合のプロジェクト
- 3 課題解決型プログラム



MBTの流れ

学内準備研修

- ◎課外準備講座
 - ビジネス討論の基礎
 - 課題解決のみちすじ
 - コミュニケーション力強化
- ◎企業課題取り組み
 - 経過報告プレゼンテーション
 - 企業担当者による指導
- ◎ビジネスマナー講座
 - 専門家による実践的研修

4~7月

丸の内研修

- ◎発表:企業課題
各協力企業から提示された課題について、学内準備研修の成果をプレゼンテーションし、企業担当者と討論を行います。
- ◎講義:企業の最前線
第一線で働く企業の方を講師に招いて講義を聴き、質疑応答を行って理解を深めます。

8月上旬

インターンシップ実習

協力企業における国内外の実習先で就業体験をします。営業同行や企画提案(文系)、研究補助や工場実習(理系)などのほか、成蹊大学向けの特別プログラムが準備されています。

8月中旬~9月中旬

学内個人発表会

インターンシップ実習を終えたMBT参加者全員が、実習の内容や与えられた課題とその解決策、その経験を今後どう生かすのかを発表します。

10月上旬

丸の内成果発表会

MBTを通して学んだ最終的な成果を協力企業の担当者や大学関係者に向けて発表します。

11月上旬



2006年に竣工した情報図書館はまるで未来都市のような構造が特徴。中空に浮かぶガラス張りの球体のグループ閲覧室では、学生の自主的な学習のほかアクティブラーニングを取り入れた授業やゼミなどが行なわれている。

目指す将来像を 具体化するキャリア教育と それを支えるキャリア支援

—— 将来を見据えたキャリア教育にも力を入れられています。

日本において「キャリア教育」

の必要性が提唱された頃、本学ではいち早く体系的なカリキュラムにおけるキャリア教育を導入し、各科目を単位として認めてきました。自身の持ち味を生かした働き方を考える「キャリアアセシナ」や各業界を代表する企業の方を講師として招く「日本企業の現状と展望」など学生それぞれに合った考え方やキャリアプランを段階的に養成していきます。

企業へ就職することがゴールではありません。卒業後の進路を考える前に、自分自身がどのような人生を生きていくのか、社会で働くことの意味は何か、

を考えることから始めます。その結果として、4年間の大学生生活を充実させることこそが最も大切であると気づくことが重要です。

—— キャリア支援にも定評があります。

学生が納得した進路へ進むよう、様々なキャリア支援を行っています。特に個別相談

による支援を伝統的に重視しており、1年次からの相談が可能です。就職活動が本格的に始動する3年次からは学部ごとに担当者を配置し、一人の相談員が卒業まで継続してサポートします。資格取得、インターンシップ、求人企業の紹介、面接対策など、それぞれの学生の悩みや要望に合わせてアドバイス

を行います。これは本学の規模だからこそできることです。こうした徹底した支援が結果的に就職力の高さにつながっています。

成蹊大学では、学生一人ひとりと向き合うきめ細かな教育で、幅広い教養と専門知識を備えた「未来の担い手」を育てていきたいと思っています。



廣 告

グローバルリーダーを育てる Global Liberal Arts Program スタート

この春、英語でリベラルアーツを学ぶ新コース

「Global Liberal Arts Program (GLAP)」を始動。

同コースの運営センター長を務める青木康氏に、一期生の現状を伺った。



上. GLAP 生が学ぶ池袋キャンパス。5月現在、約730人の留学生在籍。
下. トリニティ・ユニバーシティ（アメリカ）教員による合同講義。

教育を徹底し、本学が伝統
1 学年 20 名程度の少人数
カリキュラムの特色は？

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず、GLAP 開設の目的について教えてください。
一言でいうとグローバルリーダーの育成です。グローバルな視野は、海外で活躍するならもちろんのこと、国内で地域社会の活性化などに取り組むうえでも欠かせないもの。GLAP は、国や地域を超え、人々と互いに協力し合い、世界のために行動を起こすことができる新しいグローバルリーダーの育成を目指します。

まず、GLAP 開設の目的について教えてください。
一言でいうとグローバルリーダーの育成です。グローバルな視野は、海外で活躍するならもちろんのこと、国内で地域社会の活性化などに取り組むうえでも欠かせないもの。GLAP は、国や地域を超え、人々と互いに協力し合い、世界のために行動を起こすことができる新しいグローバルリーダーの育成を目指します。

少人数教育×英語で
リベラルアーツを学ぶ

的に重視してきたリベラルアーツ教育を英語で行います。2 年次秋学期からはリベラルアーツに定評のある海外の提携大学へ、1 年間留学することも大きな特色です。



立教大学
グローバル・リベラルアーツ
・プログラム運営センター
センター長／特任教授

青木 康氏

Profile

あおき・やすし◎1976年東京大学人文科学研究所西洋史学専攻修士課程修了。南山大学、成蹊大学教員を経て、88年立教大学文学部史学科助教授に就任。同学科教授、同学科世界史学専修教授を歴任し、2017年よりグローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター特任教授、同センター長（現任）。

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

まず幅広い学問の基礎を
しっかりと学んだのち留学を

Global Liberal Arts Program (GLAP) 主なカリキュラム

卒業後は国内外の大学院進学、グローバル企業、NPO・NGOなどの国際機関で活躍する新しいグローバルリーダーへ

年次・学期	学期	必修科目	選択科目	自由科目
4 年次	8 7	完成期 各自の興味や関心の分野を専門的に学ぶ ●Final Year Seminar1,2 ●Graduation Paper	●Global Studies Electives - Humanities - Citizenship - Business ●英語リベラルアーツ (ELA) 科目	Student Assistant (SA) 活動
3 年次	6 5	形成期 明確な目標をもって様々な学びから自己実現につながる知識を修得する ●グローバル・リーダーシップ・プログラム ●Second Year Seminar ●Global Studies Essentials	●英語リベラルアーツ (ELA) 科目	夏期短期集中プログラム科目
2 年次	4 3	導入期 思考力とその基礎となる知識を修得する ●学びの精神 ●学びの技法 (Tutorial1,2) ●グローバル・リーダーシップ・プログラム ●英語 / 初習言語 (独、仏、西、中、朝、露、日から1言語を選択)	●英語リベラルアーツ (ELA) 科目	寮生活・留学準備
1 年次	2 1			

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

授業が始まりました。
学生の反応はいかがですか？
GLAP の授業では、非常に高度な英語力が求められます。例えば、「チュートリアル

廣 告

オープンキャンパス インフォメーション OPEN CAMPUS 2017

今年も始まるオープンキャンパスは様々な大学を実際に見て、知ることができる絶好の機会。
学内見学、体験授業など、各校の個性あふれるイベントに是非、足を運んでほしい。



社会で活躍できる「食の専門家」の育成

東京聖栄大学

学園創立70周年を迎える「食と健康」の教育機関として、健康栄養学部(管理栄養学科/食品学科)を設置。オープンキャンパスでは、AO入試出願条件の1つである模擬授業やキャンパス見学、受験対策講座、個別相談等を行います。ぜひご友人やご家族をお誘いの上、お気軽にご参加ください。

オープンキャンパス情報

【オープンキャンパス】※要予約
7/8(土)・22(土)・8/5(土)・6(日)・26(土)
各日とも13:00~16:00

【AO・推薦受験相談会】※要予約
7/29(土) 13:00~16:00

お問い合わせ/
東京聖栄大学 入試・広報課
〒124-8530
東京都葛飾区西新小岩1-4-6
☎03-3692-0238(入試・広報課直通)
<http://www.tsc-05.ac.jp/>

上智大学

8月1~3日(10~16時)、オープンキャンパスを開催します(学部により開催日が異なります)。大学説明会やキャンパスツアー、入試説明会・相談のほか、体験授業や教員と在学生による個別相談などを行います。皆さんの参加をお待ちしております。

オープンキャンパス情報

8/1(火)…… 神・文・総合人間科学・法・経済・理工学部

8/2(水)…… 文・法・経済・外国語・総合グローバル・国際教養学部

8/3(木)…… 神・総合人間科学・外国語・総合グローバル・国際教養・理工学部

お問い合わせ/上智大学 入学センター
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 ☎03-3238-3167 <http://www.sophia.ac.jp>



東京理科大学

学科説明会/研究室見学/大学説明会/模擬実験/個別進学相談ほか
※各キャンパスの実施学部学科、内容などの詳細についてはHPをご覧ください。

お問い合わせ/東京理科大学 入試センター
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
☎0120-188-139 <http://www.tus.ac.jp/>

オープンキャンパス情報

【神楽坂キャンパス】 理学部第一部(応用物理学を除く)・理学部第二部・工学部(工業化学科のみ)・経営学部
8/9(水) 9:30~15:00

【野田キャンパス】 薬学部・理工学部
8/10(木) 9:30~15:00

【葛飾キャンパス】 理学部第一部(応用物理学のみ)・工学部(工業化学科を除く)・基礎工学部
8/11(金・祝) 9:30~15:30



東京農業大学

～“生きる”を支える～

「農学」とは、生命、食料、環境、健康、エネルギー、地域創成など、人類の生存にかかわる難問に、果敢に挑む行動そのものです。世界には多くの課題が残されています。いまこそ、「農学」が求められているのです。その新しい探究がまたはじまります。

オープンキャンパス情報

【厚木キャンパス】・【世田谷キャンパス】

8/5(土)・6(日)
10:00~17:00 ※予約不要

【オホーツクキャンパス】
7/29(土)・30(日)
10:00~17:00 ※要予約



お問い合わせ/
東京農業大学入試センター
〒156-8502
東京都世田谷区桜丘1-1-1
☎03-5477-2226
<http://www.nodai.ac.jp/>
◀LINE@公式アカウント「@nodai」



法政大学

法政大学のオープンキャンパスは学生主体で運営しています。実際に法政大学の雰囲気を知ることができ、在学生と交流できる絶好の機会です。さまざまなプログラムを用意して皆さんをお待ちしています。

オープンキャンパス情報

【市ヶ谷キャンパス】※一部事前予約制
8/6(日)・20(日)・21(月)10:00~16:30
法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・デザイン工・GIS(グローバル教養)学部
(8/6・20のみ)経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部

お問い合わせ/法政大学入学センター
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 ☎03-3264-9300 [法政 入試 検索](#)

【多摩キャンパス】
8/5(土)・26(土)10:30~15:30
経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部

【小金井キャンパス】
8/5(土)・26(土)10:30~15:30
情報科・理工・生命科学部

獨協大学

一足先に獨協ライフを体験できるオープンキャンパス。学問のこと、大学生活のこと、何でも学生スタッフに聞いてみよう!入試制度説明会、在学生によるキャンパスツアーなど楽しいプログラムをご用意してお待ちしています。気軽にお越しください。

オープンキャンパス情報

7/29(土)・30(日)・8/26(土)・27(日)・10/8(日)
各日とも 10:00~16:00 ※予約不要・入退場自由

お問い合わせ/獨協大学入試課
〒340-8585 埼玉県草加市学園町1-1 ☎048-946-1900 <https://nyushi.dokkyo.ac.jp/>



大学入試改革・最新事情

プロに聞く



リクルート進学総研所長
リクルート「カレッジマネジメント」編集長

小林 浩氏

Profile こばやし・ひろし/1964年生まれ。88年早稲田大学法学部卒業後、リクルート入社。2007年より現職。文部科学省高大接続システム改革会議委員(15年～16年)など教育政策の委員も数多く務める。

2020年度から大学入試が大きく変わる。このほどセンター試験に代わる「大学入学共通テスト(仮称)」の実施方針が公表され、英語の民間試験採用や、数学・国語の記述式問題導入などが話題となった。新しい大学入試で教育はどう変わるのか。リクルート進学総研、小林浩氏に聞いた。

変化する社会に対応した新しい教育体制が始まる

——今回の改革で大学入試の何が変わるのでしょうか。

今回の大学入試改革は「社会に出てから役立つ資質・能力」が身につく教育を目指すことです。重要なポイントは「学力の三要素」をしっかりと評価していくことで、「高大接続改革」の本質もここにあります。学力の三要素とは①知識・

技能②思考力・判断力・表現力③主体的に学ぶ態度——。

従来のセンター試験は主に知識の量をペーパーテストで計ってきましたが、共通テストの数学・国語は記述式問題もあり、学力の三要素も評価する入試に変わるわけです。

現在のAO入試、推薦、一般入試も変わります。それぞれ名称も変わり、AO入試は「総合選抜型」、推薦入試は「学校推薦型選抜」となり出

願・合格発表の時期が変わります。一般入試も一般選抜入試となるわけですが、いずれも学力の三要素を評価する試験となります。

高校の学習指導要領は2022年から刷新されます。社会環境が急激に変化するこれからの時代に対応できる資質・能力を身につけ、伸ばしていく。例えば「歴史総合」「地理総合」が新たな必修科目となります。歴史総合では日本や同じ時代の世界の歴史を俯瞰・総合的に学び、その後日本史、世界史を選択していくという流れです。

現在の「総合的な学習の時間」は「総合的な探求の時間」になります。選択性ですが「数理探求」など、自分で科目を選択し、深く考える力を育むのです。さらに自分の言葉で語り、書き、伝える、言語学習能力を養う方向に変わっていきます。英語は「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を身につける指導に重点を置く。総合的に学習しながら自ら探求するわけです。

偏差値ではなく自分の生き方が大事

——家庭教育はどのように考えればよいのでしょうか。

机に向かう勉強は大切ですが、広く興味関心を持ち、主体的に取り組むことが大

第17回 挑戦することを、高校生が大人と学ぶ。

日経エデュケーションチャレンジ

社会の最前線で働く大人たちが先生となり、高校生のみなさんに働く楽しさや仕事への情熱を伝える、日経エデュケーションチャレンジ。自らのキャリアを題材に、高校卒業後の進路や、今の仕事を選んだ理由、そしてイノベーションを実現するまでの苦労や失敗など、リアルに語ります。志あるたくさんの高校生の参加をお待ちしています。

開催日: 7月25日[火] 参加無料
12:30~17:40 [12:00開場] 事前申込制

◎会場: 日経ビル 東京都千代田区大手町1-3-7
[日経ホール/日経カンファレンスルーム/
日経・大手町セミナールーム/スペースNIO](予定)
◎定員: 400名 ◎対象: 全国の高校生

■主催: 日本経済新聞社 ■後援: 文部科学省・経済産業省・経済同友会・東京都教育委員会・全国高等学校長協会
■協力: 日経カレッジカフェ・高校生新聞



過去の授業風景

いますぐ登録! <http://s.nikkei.com/ne7h> エデュチャ 検索



切です。例えば家族でニュースや新聞を見ながら一緒に考え、議論をする。部活動や地域コミュニティなどに積極的に参加し、その経験を自分の中で消化し生き生きと語る。私は「経験価値」といっていますが、様々なことにチャレンジをして振り返り(リフレクション)して自分のものにしていく経験の積み重ねが大切です。

——今後、進路選択やキャリア形成に必要な視点を教えてください。

自分の人生にオーナーシップを持つ、つまり自分の意思で選択することです。私はキャリア形成には2つのタイプ、「山登り型」と「筏(いかだ)下り型」があると思います。山登り型は1つの山にまっすぐに向かっていく、スポーツ選手などはこのタイプでしょ

う。一方筏下り型は、日常生活や学習など1つ1つの機会をしっかりとっていくことで何か気付きがある。そうすると調べたり人の話を聞いたりして明確なキャリアが描けるようになるタイプです。

大学選びのポイントなど、アドバイスをお願いします。

世界で活躍したいのなら「グローバル」という軸で大学を探します。地域貢献や資格取得を目指すなど、それぞれの軸があるでしょう。現在は情報誌やウェブを活用すれば情報はたくさんありますから、まずはしっかりと比較しましょう。例えば国際教養という同じ名称の学部でも、大学によって、留学の義務、全て英語で授業、全寮制など特色は異なります。大学のオープンキャンパスに足を運び、疑問点があればどん

どん聞いてみてください。私たち親世代が大学受験に臨んでいた頃、一番の指標は「偏差値」でした。これまでの価値観は通用しないということを理解しておくべきです。未来の社会の変化を見据え、親子で進路を考えることが大切なのです。

日経マガジン 教育特集号 ★読者プレゼント

本特集に関するアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で図書カード2,000円分を10名様にプレゼントします。

◎応募締切...2017年7月24日(月)

※お申し込みはお一人につき1回でお願いします。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

★ご応募はこちらのサイトよりお申し込みください

<http://adnet.nikkei.co.jp/>

または、日経アドネット

検索



廣 告